

令和8年度シラバス（産業社会と人間）

学番29 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科（科目）	産業社会と人間	単位数	2単位	学年	1年次
使用教科書	産業社会と人間（学事出版）				
副教材等	特になし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①コミュニケーション能力と自分で課題を発見し解決する能力を育成します。 ②各系列において必要な、基礎・基本の学力の習得を目指し、将来の進路実現に繋げる生徒の育成を目指します。 ③個性を生かし、各系列で創意工夫や発想力を活かし、豊かな感性で新しいものを生み出せる生徒を育成します。 ④社会の発展に貢献しようとする大きな志を持って、主体的に地域の生活を創造できる能力を持つ生徒を育成します。 ⑤自己を管理する力を持ち、他者への思いやりや、協働ができ、市民としての社会的責任を自覚する勤勉な態度の生徒を育成します。
カリキュラムポリシー	①地域社会と積極的に連携し、協働する力や社会に役立とうとする意識を育成する。 ②「系列」に応じた様々な選択科目を設置し、生徒一人一人が主体的に興味・関心を広げ、力を伸ばす多様な選択を可能にします。 ③各系列での基礎学力の向上を目指し、卒業までに高い専門性を身に付けさせます。 ④各学年における探究的な学習活動や体験学習、教科横断的な学習により、深い学びを実践していきます。 ⑤各系列の多様な価値観や個性を持つ生徒との協働的な学びのフィールドを展開することで、他者を受容し開かれた自己を確立し、人間関係を築く力を育てます。

2 学習目標

自己の生き方を探究させるという観点から、自己啓発的な体験学習や討論などを通して、職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに、自己の充実や生きがいを目指し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。

3 指導の重点

- ① 自己理解（自己分析のための視点作り）
- ② 他者理解（人との良好な関係の築き方）
- ③ 職業理解（将来を見据えた）
- ④ 社会認識（地域学習・防災学習・人権学習・平和学習）
- ⑤ 自己実現にむけたキャリアデザイン（高校生活のモデル構築・履修計画の作成）

4 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
働くことの意義、様々な職種・産業、進学し学び続けることの意義を知り、高校時代の学びの大切さを理解している。	自分の興味や適性に応じて進路を考え、それに応じた科目選択を行おうとしている。また、自らの考えを、学級内発表や作文・小論文等により適切に伝えることができる。	産業社会に関心を持ち、意欲的に問題に取り組んでいるか。それぞれの学習内容に対し、意欲的に取り組もうとしている。

5 評価方法

	評価は次の方法で行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	- 授業への取り組み（研究における内容の理解度） - 提出物（産社ノート、レポート等） などから、総合的に評価します。	- 授業への取り組み（研究における問題提起や解決策の有無） - 提出物（産社ノート、レポート等） などから、総合的に評価します。	- 授業への取り組み（授業態度、出席状況、学習への参加状況） - 提出物（遅れずに提出できているか等） などから、総合的に評価します。

6 指導計画

月	指導単元	指導内容	時間	評価のポイント
4	オリエンテーション	産業社会と人間の内容・目的について	2	・産業社会と人間の内容や目的について理解し、意欲的に学ぼうとしているか。 ・自分自身を見つめ、高校生活の過ごし方を考えることができたか。
	講演会① 新入生意識啓発講演会	進路目標や高校生活のあり方について	2	
	系列授業見学	2・3年次生の系列授業の見学 将来の進路を考え系列を選択	2	
	第1回系列希望調査			
5	防災教育	防災学習	2	・防災訓練の意義について理解し、意識を高めることができたか。 ・総合学科の特徴について理解したか。
	各教科科目説明会	系列・科目選択について	2	
6	進路講演会	学習習慣形成支援講話	2	・積極的にコミュニケーションをとり、自己を表現しようとしているか。 ・自己の将来、なりたい職業を見据えて、系列を選択することができたか。
	コミュニケーションスキルについて	人とつながるための力を実践形式で理解する	2	
	自己分析	自己理解	2	
	第2回系列希望調査	系列・科目選択		
7	探究学習①	関心領域の見つけ方	2	・将来の働く姿を想像して探究テーマを設定することができるか。
	探究学習②	情報収集のスキル学習	2	
9	探究学習③	発表資料の作成	6	・多角的な視点から情報を集め、まとめることができるか。
	探究学習④	クラス発表	4	・学んだことを発表し相互の発表をまとめ意見交換をすることができるか。
10	探究学習⑤	学年発表（文化祭展示）	2	・クラスの枠を超えて発表をすることができるか。

	上級学校見学	大学などに実際に足を運び、見学 事前に下調べをする。 事後は感想などをまとめる。	6	・上級学校の種類と特徴について理解したか。 ・大学、短大で学ぶ意味を理解したか。
11	就職ガイダンス	地域産業への理解を深める	4	・地域の現状と課題について理解したか。
	進路ガイダンス (職業体験講座／模擬授業)	自分の希望する分野の大学や専門学校の授業を体験する	4	・大学や専門学校の授業を受けて、職業や進路について考えることができたか。
	探究学習⑥	データ分析方法とまとめ方	2	・データの分析方法について理解することができたか。
12	探究学習⑦	伝わるプレゼンスキルを学ぶ	2	・伝わりやすいプレゼン方法や表現方法を理解することができたか。
	探究学習⑧	発表資料の作成	6	・これまでの探究スキルを活かした発表ができたか。
1 ～ 3	探究学習⑨	グループ発表	2	
	修学旅行オリエンテーション	修学旅行概要説明	4	・修学旅行の目的を理解することができたか。
	修学旅行トピック学習	トピック①「防災学習」	2	・各トピックに対して理解を深めることができたか。
	修学旅行トピック学習	トピック②「異文化理解」	2	
	修学旅行トピック学習	トピック③「人権同和学習」	2	
	まとめ	1年間の振り返り	2	・これまでの学習をふりかえり、次年度の目標を立てることができたか。

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物など

・レポート ・発表スライド ・自己評価 ・ピアレビュー

8 担当者からの一言

この「産業社会と人間」という科目は、高校で、なんのために学ぶのか、なにに向かって学ぶのかを考えるための科目です。国語や数学などのように、決まった答えがあるわけではありません。先生が答えを教えてくれるわけでもありません。答えは、あなた自身が考えるのです。

あなたの高校生活が、よりよいものになることを期待しています。